



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

紫陽花の季節

園長 宮竹 恒

梅雨の訪れとともに、紫陽花の季節になりました。紫陽花の花を見ていると、様々な色の花が混じり合って調和している自然の美しさを感じます。

紫陽花は、花の色ごとの花言葉と全ての花共通の花言葉を持っています。調べてみますと、ネガティブな言葉からポジティブな言葉までありました。ポジティブな言葉として、「団結」「家族団欒」があり、花のイメージに近い感じがします。

紫陽花の花のように、学園の子どもたちが個性豊かに生活し、それぞれの花を咲かせつつ団結出来れば良いと思います。

さて、今月は、学園にとって大きな変化の月となりました。食堂に新しくテーブルと椅子を購入しました。搬入した当日、昼食までは座布団に正座で食事をしていましたが、夕食からは椅子に座っての食事となりました。

最初の夕食を子どもたちと一緒に食べましたが、違和感がなく、以前から椅子に座って食べていたかのようにも感じました。

食事については、子どもたちから様々な希望があり、今回の変更もその一つです。

食事に関して、補足になりますが、今月行ったカレー作りのメニュー(主にトッピング)も子どもたちの希望でした。

もう一つの大きな変化は、これまで行って

きた「買物学習」から「買物外出」への変更です。これまで、月に一度、全員一緒に学習の一環として「買物学習」を行っていました。

今月より、フロアごとに外出の日を変えて、学習時間とは別に買物を行うようにしました。

子どもたちの希望を聞き、購入出来る商品も増やしています。「買物外出」の回数や、買物に行く事が出来るお店を増やすことも検討中です。

紫陽花の花の色が土壌によって変化するように、子どもの希望を汲んで日課や活動を変えていきたいと考えています。一了一

—お知らせ—

毎年、多くの方にご参加頂いております「若竹学園夏祭り」ですが、今年度は、学園内で子どもと職員のみで行うことに致しました。子どもたちの元気な様子は、若竹だよりでお伝えさせて頂きまますので、ご理解の程、宜しく願い申し上げます。



ギャラリーMON 川添 巖様 お菓子沢山
ミキサーマン様 プリン沢山



青峰・若竹学級だよ

進路学習

中学生全員を対象に学校1階ホールで進路学習を行いました。中学校卒業後の進路には様々な選択肢があることや、高校だけでもたくさんの種類があることを知りました。また、高校へ行くことが目的ではなく、将来自力で生活ができるようになることが大切であることを学び、一人一人が自分の将来について真剣に考えることができました。



第1回学習の診断

新型コロナウイルス感染症による臨時休校が終わり再登校になったばかりですが、6月8日（月）に中学校3年生は第1回学習の診断に臨みました。定期テストとは違い1校時から5校時まで5教科連続のテストですので、終わった時の表情には疲労感が漂っていましたが、全員が進学希望ということもあり、真剣な表情で集中して取り組み、日頃の学習の成果を発揮するべく努力していました。



理科の実験

中学校の理科の授業で塩化銅水溶液の電気分解をしました。回路の組み立てから実験まで協力して行えました。



音楽の授業



今年度、小学校では週1回音楽の専科の先生が授業をしてくれるようになりました。

1回目の授業は手話を取り入れた合唱をしたり、リコーダーの演奏をしたりしました。



選択の活動

小中学校合同で選択活動の時間を取り入れています。校種や学年を超えてグループ分けをして活動しています。





カレー作り

昼食のカレーとサラダ作りをしました。中学生女子が自主的に「私たちも作りたい」と言ってくれ、手伝ってくれました。



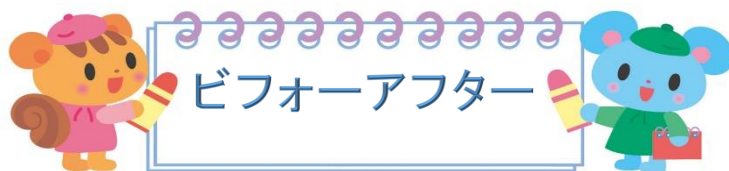
カレーは甘口、中辛、辛口だけでなく卵やソーセージ、唐揚げをトッピングに用意しました。

じゃがいもは丸くて剥くのが難しかったり、玉ねぎを切ると涙が出たりしましたが作り終わると子どもたちは「頑張った、美味し



そう」と言っていました。サラダはレタス、キュウリ、トマト、コーン、ツナを入れました。子どもたちは見た目が綺麗に見えように盛り付けてくれました。食事の時間になると手伝ってくれた子どもたちは、周りの子どもたちに「私たちが作ったよ」と嬉しそうに話

していました。カレーを食べた子どもは「美味しい」「まだおかわりある？」という言葉が聞こえてきて私たち職員も嬉しく思いました。子どもと一緒に何かを作って食べると格別に美味しく、とても楽しかったです。子どもたち同士も仲良く楽しむことができいい思い出になりました。



開園してから現在まで、食堂は正座での食事でした。6月から机・椅子に変更しました。足を怪我した場合もだいぶん楽になります。また姿勢も良くなっていくと思います。

机も一列ではなく、様々なスタイルで使用していこうと考えています。1日の生活の中で食事は大切なことです。栄養面もそうですが、行事食でなく日々の食事が楽しくなるように心がけていきたいと思っています。



社会福祉法人四恩の里決算報告

平成31年度 事業活動収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日 (単位:円)

勘定科目	決算額
児童福祉事業収益	383,084,521
経常経費寄附金収益	1,303,000
その他の収益	10
サービス活動収益計①	384,387,531
人件費	232,910,264
事業費	61,173,547
事務費	32,072,150
減価償却費	37,886,022
国庫補助金等特別積立金取崩額	-18,730,804
サービス活動費用計②	345,311,179
サービス活動増減差額③(①-②)	39,076,352
サービス活動外収益計④	4,270,104
サービス活動外費用計⑤	3,358,756
サービス活動外増減差額⑥(④-⑤)	911,348
経常増減差額⑦(③+⑥)	39,987,700
特別収益計⑧	36,282,000
特別費用計⑨	36,282,006
特別増減差額⑩(⑧-⑨)	-6
当期活動増減差額合計⑪(⑦+⑩)	39,987,694
前期繰越活動増減差額⑫	433,169,629
当期末繰越活動増減差額⑬(⑪+⑫)	473,157,323
基本金取崩額⑭	0
その他の積立金取崩額⑮	22,053,661
その他の積立金積立額⑯	40,000,000
次期繰越活動収支差額⑰(⑬+⑭+⑮-⑯)	455,210,984

平成31年度 貸借対照表

令和2年3月31日現在 (単位:円)

資産の部	
流動資産	151,445,306
基本財産	1,004,635,667
その他の固定資産	210,835,656
資産の部計	1,366,916,629
負債の部	
流動負債	72,234,921
固定負債	31,891,218
負債の部計	104,126,139
純資産の部	
基本金	114,373,888
国庫補助金等特別積立金	517,256,996
その他の積立金	175,948,622
次期繰越活動収支差額	455,210,984
純資産の部計	1,262,790,490
負債及び純資産の部合計	1,366,916,629

令和元年苦情・要望件数

1	受付件数	総数：11件	
2	受付方法	苦情ボックスを若竹学園の玄関に設置	
3	苦情申出人	利用者：9件 保護者：2件	
4	内 容	職員の接遇に関すること	苦情：4件 要望：1件
		サービスの質や量	要望：5件
		被害・損害に関すること	苦情：1件

6月行事

23日	消防訓練(消火)
23日 24日 30日	6月の買物外出

在籍人数 令和2年7月1日現在

区 分		県内	県外	合計
		(人)	(人)	
男 子	小学生	4	2	6
	中学生	8	2	10
	計	12	4	16
女 子	小学生	4	0	4
	中学生	3	1	4
	計	7	1	8
合計		19	5	24

編集後記 今月から買物学習が買物外出という形に変わり、子どもたちの要望にも応えて、買えるものが少しずつ増えてきました。買い物途中や帰園後の子どもたちの嬉しそうな姿を見て、今後も子どもたちの声を聞き、できることを増やしていきたいと感じました。

(大室)

第315発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

